

細菌性赤痢患者の発生について

1. 概 要

5月18日、浜田市内の医療機関から浜田保健所に細菌性赤痢患者発生の届出がありました。

現在、浜田保健所が患者及び接触者の健康調査と行動調査を実施しています。

2. 患 者

江津市在住 小学生 男子

検出菌：赤痢菌（フレキシネル）

症 状：下痢、腹痛、嘔気、倦怠感

3. 経 過

4月28日 渡航先から入国

30日 下痢、腹痛、嘔気、倦怠感

5月 2日 医療機関を受診

12日 症状が継続するため、同医療機関を受診

18日 検査結果が判明し、同医療機関から浜田保健所へ細菌性赤痢患者の届出
現在、患者は回復しています。

4. 対応状況

- ・患者及び接触者の健康調査と行動調査
- ・手洗いなど二次感染予防の指導
- ・トイレ等の消毒指導

5. 県民への呼びかけ

細菌性赤痢の主な感染経路は経口感染です。感染予防にあたり、次のことに気をつけましょう。

①食事前やトイレの後には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。

②よく火をとおしたものを、調理後なるべく早く食べましょう。

③海外旅行の際、なまもの、なま水は避けましょう。

腹痛、下痢及び発熱等の体調不良がおこった場合は、早めに医療機関を受診してください。

【参考1】県内の発生状況（三類感染症）

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
コレラ						
細菌性赤痢	1					1 *
腸チフス						
パラチフス						
腸管出血性大腸菌	18(3)	8(3)	12(1)	13(3)	20(2)	3(1)

* 本件を含む

2018年4月から中核市松江市分を()で再掲しています。

【参考2】細菌性赤痢の臨床症状等

- ・潜伏期間は、1～5日、通常3日以内
- ・典型的な症状は、全身倦怠感、悪寒を伴う発熱、水様性下痢

プライバシーを尊重した対応をお願いします。